

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	低侵襲脳神経外科手術における最適な手術機器の選択基準の確立
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 脳神経外科学 荻原 利浩
研究参加拒否 申込受付期間	2029年2月28日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2029年3月31日
対象者	2023年4月1日～2025年10月1日の期間に金沢医科大学病院で脳神経外科手術を受けた方
当該研究の意義・ 目的	本研究は、脳神経外科手術の低侵襲化に向け、それぞれの疾患や術式に対し、手術顕微鏡、神経内視鏡、外視鏡のいずれの手術機器が最適かを解明し、選択基準を確立することを目的としています。患者負担軽減と手術成績の向上の両立を目指し、より低侵襲で安全な手術方法の発展を目指しています。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究は、診療録より以下の情報を収集し、得られたデータから、脳神経外科手術における最適な手術機器の選択基準を解析します。 患者背景：年齢、性別、基礎疾患、既往歴 手術関連情報：手術日、対象疾患（脳腫瘍、血管障害、下垂体腫瘍など）、術式、使用機器（顕微鏡／内視鏡／外視鏡）、手術時間、出血量 手術成績：腫瘍摘出率（脳腫瘍）、血腫除去率（脳出血）、術後転帰（Glasgow Outcome Scale）、退院時転帰 合併症：髄液漏、感染、神経障害、再手術の有無 副次評価：術中の視認性、操作性、教育的有用性に関する術後カンファレンス記録 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。

資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定していません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 脳神経外科 荻原利浩 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（26503）

作成日：2025年10月7日